現代社会に生きるすべての人へのお知らせです!!

新開発の救健食『ヘルスカーボン®』とは!?

◆健康を望む現代人と、未来を担う子供達の成長のために…◆

現代社会に生きる私たちにとって、食品を安心して摂ることが難かしくなっているのが実状です。毎日の食事から否応なく摂取しているたくさんの不要なものは、日々私たちの体の中に蓄積されているかもしれません。そんな中、新技術により開発されたのが現代の救健食とも言うべき吸着成分をもつ「ヘルスカーボン」です。吸着して排出するという「ヘルスカーボン」のすばらしい働きをぜひ多くの方々に知っていただきたいのです。

暴飲暴食に警鐘！健康を守るには?!

このところ相次ぐ食品業者の不祥事報道で、消費者の「食」に対する不信感と危機感は募るばかりです。とくに成長期にある子供たちが被る健康被害は深刻で、各方面から警鐘が鳴らされながらもこれといった解決策は見出されていません。

現在私たちが「安く」、「遠くのもの」を「安全」に食べることができるのは食品添加物や農薬によるところが大きく、これらが無ければ現在の食生活はありえません。もし使わなくなったら壊滅的な打撃を受けるでしょう。残念ながらこれが食生活の現状です。現代に生きる私たちが健康で安全な食生活を送るにはどうすればいいのでしょうか?

一流の研究陣が20年をかけて開発

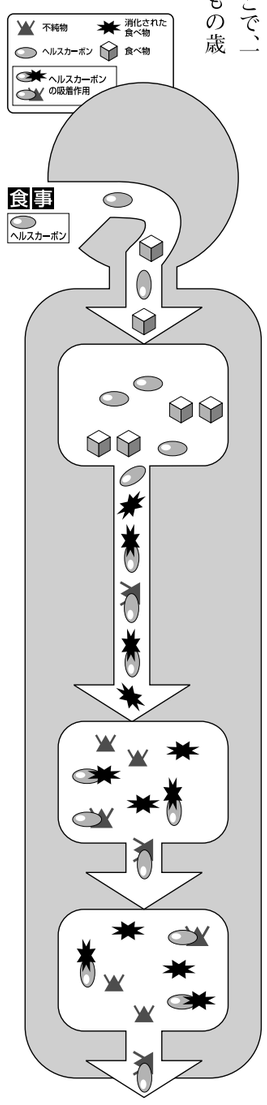
長年、さまざまな研究開発を手がけられ、東京理科大学で教鞭をとられる青柳重郎博士が、たどりついたのが、食品に含まれるものを吸着して排出するという健康食品作りでした。そこで、一流の研究陣とともに20年もの歳月をかけて「食べる活性炭」を研究開発の末、完成したのが「ヘルスカーボン」です。

その素晴らしさはテレビや新聞などからも取材・紹介され、大きな話題となりました。さらに書籍「食べる活性炭」も刊行されています。次々に発売される健康食品の数々。本当に健康の一助となる有益な健康食品を選んでいただくための指針ともなるのが「ヘルスカーボン」です。

掴んで捨てるヘルスカーボン

ヘルスカーボンは、食物に含まれる多くのものが体の中で分解されない前に吸着し、そのまま吸収させることなく体の外へ出してしまいます。分子量100~90000までの物質を微細構造の中に取り込み、そのまま出すことができるのが「ヘルスカーボン」なのです。海藻などの天然成分でできたカゴで包むことにより便秘するという欠点を解消することにも成功しました。

すでに栄養補助食品やダイエット食品など数品目にこのヘルスカーボン使用の商品が誕生していますが、まだまだ馴染みの薄い新成分です。まずは試して、その働きを実感し、健康な毎日にお役立てください。とくに子供たちの未来を担う成分、それがヘルスカーボンです。



ご存知ですか？吸着力にすぐれた“食べる活性炭・ヘルスカーボン”

活性炭がニオイや不純物を吸着することはよく知られていますが、食品として食べることのできる活性炭があることはまだあまり知られていません。この“食べる活性炭”こそ、私たちの救健食となる「ヘルスカーボン」なのです。

一流の研究陣の参加のもと、20年もの歳月をかけてついに「ヘルスカーボン」の開発に成功しました。

“食べる活性炭”を開発する上でまず、体内でより多くの物質を吸着できるように機能化処理を施し、進化させたスーパーアクティブカーボンが誕生しました。さらに昆布などの天然素材で作った多孔体（カゴ）でこのスーパーアクティブカーボンをコーティングしました。こうして生まれたのが、毎日続けて摂ることができる食べる活性炭「ヘルスカーボン」です。

「ヘルスカーボン」を顕微鏡で見ると、拡大しても限りなく穴が空いています。これらの吸着穴に入り込んだ食物は出ることができません。この作用を吸着と呼びます。ヘルスカーボンに吸着される分子量は100～90000です。

●健康管理に気を配られている方●ダイエット中の方●偏った食物嗜好の方などにおすすめの吸着作用を活かした食べる活性炭です。

▲ヘルスカーボンのイメージ

5分後ろ過すると、元の水以上にキレイになります。

「新規吸着剤」特許取得

日本特許：第39142265号
（新規吸着剤）

米国特許：US6299867B1
（韓国特許：04424741号）

ヘルスカーボン®開発者 指定工場からのお知らせ

日本全国にヘルスカーボンをお届けすることで、皆様の健康を維持するためのお手伝いができると確信しています。さらに、体外へ排出されたヘルスカーボンの能力にはまだまだ余力が残っており、河川の環境問題にも供与できると期待しています。株式会社ビッグウエスト社は、現在世界でただひとつの２１世紀型健康食品ヘルスカーボン開発者・青柳重郎博士の指定工場としてヘルスカーボン商品の製造供給に努めています。しかし、残念なことに……**インターネット等にて、ヘルスカーボンの商標を無断使用した類似商品が出回っておりますので、本当にくれぐれもご注意ください！**尚、ヘルスカーボンについてもっと詳しく知りたい方はお電話または、ＦＡＸにてお気軽にお問合せください。

▶お問合せ電話番号 **042-368-0990**

弊社のヘルスカーボン ホームページも是非、ご覧になってください。

http://www.healthcarbon.jp ビッグウエスト社 検索 インターネット検索にて

ヘルスカーボン®は青柳重郎工学博士の登録商標です。
ビッグウエスト社は現在世界に1社の開発者指定工場です。

ヘルスカーボン®開発者『青柳重郎』博士の略歴

山形県出身。1961年、東京理科大学第１理学部化学科卒。同年、東京大学理学部研究生(生物化学専攻)。1973年、工学博士。早稲田大学理工学部研究所にて日本で最初のコンタクトレンズの共同研究。その後、テルモに入社、人工臓器・医療器の研究・開発。真空採血管（血清分離間）、血液パック、輸血バッグ、人工腎臓用透析膜等の製造法の開発。1984年4月に、筑波大学元学長・故福田信之氏と共に株式会社東京バイテク研究所創設。東京理科大学理学部応用化学科非常勤講師(材料化学１．ヘルスカーボン・人工腎臓講義担当)。低温医学会、日本環境感染学会、自己血輸血研究会などの正会員。専門領域は、医療用高分子の分子設計・機能設計、人工臓器及び、血液浄化システムの開発と評価。解毒の手段の開発と評価。国内外特許：約350件、国内外論文100件。

成功プロジェクト及び現代社会で利用されている製品の一部を付記すると「人工腎臓用中空糸膜製造技術の開発と人口腎臓」、「無溶出性軟質素材の開発と輸血用バッグ」、「吸着解毒機能を有するヘルスカーボンの開発」、「老人介護機器」、「冷凍保存血液洗浄システムの開発」など。著書に『開発考（一）』～『開発考（六）』など多数ある。平成１９年６月、検査入院にて永眠。

商品の受付は

▼お電話でのご注文（月～金曜日／午前10時～午後6時まで）
TEL.042-368-0990
▼FAXでのご注文（年中無休／24時間受付）
FAX.042-316-3535

▶おハガキでのご注文
50円
〒183-0005
東京都府中市若松町1の7の6
（株）ビッグウエスト社
朝日新聞係

●商品名「ヘルスカーボン」
●個数
●郵便番号
●住所
●氏名（フリガナ）
●電話番号

■商品のお届けは、約2週間前後となります。■お支払いは商品到着時に代金引換でお願いいたします。■お届けした商品に万一、破損、汚損、品違いなどございましたら、至急ご連絡ください。取り急ぎ交換いたします。ご返品の場合は商品到着後8日以内にご連絡ください。尚、食品につき開封後の返品はご容赦願います。また、お客様のご都合による返品の場合、返送料はお客様のご負担となりますので、ご了承ください。　※商品のお届けは当社提携会社（株）エムケイコーポレーションからとなります。※お客様の個人情報に関しては、提携会社と共有し、商品配送業務及びその他新商品、サービスのお知らせ以外には使用致しません。

『ヘルスカーボン®』開発者 指定工場
株式会社 ビッグウエスト社
〒183-0005 東京都府中市若松町1-7-6 サングレース東府中1F

※上記記載の日本特許番号に誤りがございました。
日本特許：第3914265号が正です。